

JA 鶴岡広報誌

暮らしに幸せ運ぶ

1

January
2024

No.636

【特集1】 新春対談

【特集2】 辰年さんの初夢

CONTENTS [もくじ]

03 [特集1]

新春対談

06 [特集2]

辰年さんの初夢

08 とれたて けさらんニュース

10 クロスワードパズル / 理事会開催報告

11 JAからのお知らせ / 編集後記「灯台」

もんとあへる

自動車中央センター

不動産センター



イベント情報、物件探しは
こちらのQRコードへ



今
月
の
モ
デ
ル



下川 本間 いおり 彩織ちゃん 4歳
あおい 葵衣ちゃん 2歳

●お父さん 隼平さん ●お母さん 沙和さん

優しい性格の姉の彩織は、何にでも一生懸命な頑張り屋さん。ユーモアに溢れ家族みんなを笑顔にしてくれます。マイペースな性格の妹の葵衣は、絵本や歌が大好きで家の中では葵衣の可愛い歌声がいつも響き渡っています。ケンカも多い2人ですが、気づけば仲直りし賑やかな毎日。

今は好き嫌いの多い時期ですが、父や祖母の作る美味しい農作物を食べて、元気いっぱい成長して欲しいです。

「撮影協力：荘内神社」

新年あけましておめでとーございます

組合員の皆様にはつつがなく輝ける新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年は、我々が過去に経験した事のない猛暑、少雨に見舞われ、管内のほぼ全ての農産物に被害が発生しました。特に米については、一等米比率が一桁台という庄内農業始まって以来の品質低下となり、せっかくの概算金1俵1200円アップの効果も半減してしまいました。しかしながら、今、米の需給バランスはしっかりと整い米の価格は上昇傾向にありますので今後を期待したいものであります。

又、ロシアによるウクライナ侵攻も終結するどころか更に中東での紛争が勃発し世界の食料事情がより一層不安定なものとなっています。以前のように必要な食料を必要な時に必要なだけ輸入出来る状況ではなくなりました。今後は必要な食料は日本で生産しなければならぬのです。今後、この日本で必要な食料を必要なだけ生産するには今、我々農業界が抱えている後継者不足の問題など、多くの課題を解決しなければなりません。その課題を解決する為には今後、官民を上げて取り組んで行かねばならないものと思います。

さて、令和6年度は「魅力ある100億円安定産地 鶴岡」をスローガンに掲げた第13次地域農業振興運動計画の2年目となります。スローガンに掲げた販売額100億を達成する事が組合員の皆様の健全な農業経営につながるものであり、今年度も全力を挙げて100億達成に向けて取り組んでまいります。100億達成の為には、まずは昨年の猛暑対策をしっかりと講じなければなりません。各関係機関との連携を密にして有効な策を示して行きたいものと思っております。

結びに今年一年、組合員の皆様がお豊かに過ごせます事をお祈り申し上げ新年のあいさつと致します。

代表理事組合長 佐藤 茂 一

後列：
鶴岡市農業協同組合
前田資生 理事参事(司会)㊤
佐藤茂一 代表理事組合長㊤

前列：
一般社団法人 DEGAM鶴岡 ツーリズムビューロー
常務理事兼事務局長 大宮將義 氏㊤
由良温泉観光協会 会長
石川博一 氏㊤

2024年
新年号企画

「新春対談」

「撮影協力：由良温泉
八乙女」

「観光業から見た『農業』について」

第13次地域振興運動計画において

「需要に応える産地として『国消国産』へ貢献します」という基本方針を掲げております。
J A鶴岡の農産物の生産、販売に対する取組みが視点を変えてどのように見えているのか、
観光業の視点から産地発展への展望を探るためご意見を頂戴いたしました。

組合長

お二人からは観光事業に携わっている中で、現在の鶴岡市の観光の状況や我々が提供しております食材が観光客の皆さんからどのような評価をいただいているのかお話しいただき、今後のJ A鶴岡のあるべき姿を模索してまいりたいと考えているところです。

司会 参事

昨年、鶴岡への観光客の来訪状況や観光業界の動きがどうだったのかを大宮様より一般社団法人DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー(以下「デガム」)の紹介も兼ねてご説明いただければと思います。

大宮 はじめに「DEGAM」という名称ですが、出羽三山の「DE」、ガストロノミー、食文化を表す言葉の「GA」、そしてマーケティング・マネジメントの「M」の頭文字による造語です。日本版DMO制度というものが、国から認められたDMO法人です。具体的には観光地域づくりのかじ取り役として、観光マーケティングやマネジメントを担い、多様な関係者と協働しながら戦略に基づき観光を推進する法人です。令和元年7月1日に法人を設立。そして、令和2年3月末に観光庁から認定を受けております。

本市の観光客の状況は、コロナが明け徐々に観光需要が回復しておりますが、令和4年度は令和元年と比較して、まだ約7割という状況です。弊社が実施している観光客動向調査の傾向としては徐々に県外の方、特に首都圏からの来訪の割合が増加してきています。そして、年代層では50代以上の方が半数を占め、昨年は30代の方の割合も多少増えてきました。20代から30代が呼び込みたい年代層ではあるんですけどね。また、旅行期間は一泊二日が主ですが、二泊以上の連泊の割合が徐々に増加しているという傾向が見えています。

す。

司会 ありがとうございます。続いて石川様より、ホテル業界から観光客の観光目的など、生の声をお聞かせいただければと思います。

石川 昔は、湯野浜温泉、あつみ温泉、湯田川温泉、由良温泉が個々に活動をしていましたが、近年、デガムの活動のおかげで、連携を取って全国に情報発信をしています。

旅行者の観光目的ですが、鶴岡市全体の旅館への宿泊状況は、遠方からだと二泊、近隣だと一泊の需要が多くなっています。共通していることは、羽黒山や加茂水族館といった名所に立ち寄りたい。庄内の食を堪能したい。温泉で癒されたい。この三つがキーワードになっているようです。ちなみに由良へは、日本海を一望しながら由良漁港で水揚げされた新鮮な魚を食べたいお客様が泊まりいただいているという状況です。

司会 ありがとうございます。モニターツアーのアンケート情報などを交えながら、観光客が求める農産物「食」の魅力とはどういうものか大宮様よりお願いしたいと思います。

大宮 国が観光を推進するために地域に求めているキーワードは、「インバウンドの回復」と「高付加価値化」という視点です。先日、地域一体型のガストロノミーツーリズムという実証事業においてモニターツアーを行ったところ、外国の方は日本に「食」という部分を強く求めています。

また、観光客動向調査で、鶴岡を訪れて期待するものは何ですかという問いがございます。その中で約8割の方が「食」と答えており、また同じ割合で「満足」と評価を頂いております。

司会 食ということで、特に求める食材というのはあるのでしょうか。



由良温泉観光協会

会長
石川 博一

大宮 やはり多くの方が、鶴岡にお米というイメージを持っていらつしやいます。朝食に出されるお米も、美味しと皆さん言ってくださいます。そして旬の食材は夏であれば、メロン、だだちゃ豆が好評です。

組合長 ちなみに、八乙女さんでは朝食の米は。

石川 J A鶴岡のつや姫です。宿泊客から不味いというクレームがなくなりました。

組合長 ありがとうございます。やっぱり米が美味しくないとな。ぜひとも旅館の方々には地元のつや姫を使っていたきたいなと思っております。

司会 地元の米は地元の水が一番合うと思うので、地元の米を今後ともよろしくお願いしたいと思えます。

大宮 弊社でもつるおか観光ナビというWebによる情報発信をしておりますが、特集ページにおいてご飯の美味しさを大々的にPRさせていただいております。

組合長 インバウンドで外国人が多く山形県にも来ていますが、その点はどうですか。

石川 アジア圏の方だと、団体で県をまたぎいるんなところを回りたいという傾向ですが、欧米の方は、個人型で同じところに連泊するという傾向があるんです。
組合長 見ていると観光地一辺倒から、何かをやりたい日本の文化に触れたいという傾向に変わってきていると感じます。だから、そういう人たちは連泊するんだと思います。

大宮 令和元年以降、「詣でる つかる 頂きます」というテーマで観光事業者の皆さんと連携して観光誘客を行っておりますが、外国の方の傾向を見ると、やはり詣でる部分、出羽三山などいわゆる精神文化のストーリーが欧米豪の方々には響くようです。

観光案内所にも外国の方が多く訪れておりますが、お話を聞くと、やはり欧米豪の方が長期滞在をされている傾向があります。

石川 食に関して言いますと仮に刺身を提供するとします。お皿に刺身だけあっても料理は完成しません。そこに薬味のあしらえとして大根や大葉があればこそ美味しく頂ける一品となり完成すると思うんです。そして、魚や大根、大葉などにそれぞれこだわりやブランド名が付けば、ニュースになって需要が高まり、我々のような提供者側、生産者側の双方がWINWINになつていくのかなと思っております。

組合長 今、会長がおっしゃったように、あしらえにも意味があつて添えてあるわけですが、残念ながら我々食べる側からするとあまり食べないですよ。だから、そこに目を向けるような工夫をすれば、それこそ、在来野菜の大根をお出しするとか。

石川 そうですよ。お客様への提供の仕方、お品書きに加えるとかは必要かなとは思いますが。

組合長 多分、在来野菜の大根と書いてあれば手をつけそうですよね。そういう意味では、郷土料理とかもそうだし、提供の仕方によっては十分観光客の皆さんに喜んでもらえるのかな。また、羽黒山で修行する外国人にも好まれそうですよね。

大宮 手向の宿坊で精進料理を食べたいという方を受け入れたりもしています。ベジタリアンやヴィーガンといった方々が世界には一定数いらつしやいますので、そういった方を受け入れられると、ツーリズムの可能性が広がると思っております。



一般社団法人
DEGAM鶴岡
ツーリズムビューロー
常務理事兼事務局長
大宮 将義

組合長 当JAには「だだちゃ豆」というブランドがあるわけですが、観光客の皆さんからはどんな評価を得ているのでしょうか。

石川 評価はとても良いと思います。各旅館で提供のやり方は異なるようですが、前菜に出すところが多いようです。当館では客室にウエルカムだだちゃ豆を置くこともあります。

組合長 ありがとうございます。

石川 冷凍も併せて買わせてもらっています。そのまま解凍すればすぐ美味しくいただける。御膳とは別に生ビールと枝豆をテラスで召し上がってもらっています。

組合長 もんとあくる白山店に日本初の枝豆専用自動販売機を置いています。シーズン前であれば売れる理由が分かるのですが、シーズン中もそれなりに売れているんですよ。やっぱりすぐ食べられるというのが大きいかな。

大宮 8月末に外国の輸出のバイヤーさんをもんとかへお連れしました。その日取れたのだだちゃ豆を食べていただいたんですが、その美味しさにすごく衝撃を受けていました。冷凍、フリーズドライの商品といったものも今後、海外向けに販路拡大の可能性を秘めているところなんです。

組合長 生ではちよつと鮮度の面で厳しい部分がありますが、冷凍やフリーズドライであれば十分可能性があります。

あるんですよ。そして、このぐらい円安になると、今までちょっと価格的に無理と言うムードがありました。が、意外と手を出せる価格になるんです。

組合長 あと庄内砂丘メロンもブランド化しています。が、メロンはお客様に提供していただいておりますか。

石川 メロンも提供しており高評価をいただいております。

組合長 庄内砂丘メロンは、品質が安定していて味がいいんですよ。

石川 国産国産という柱があるわけですが、やはり我々からすればもっと地産地消を重点的に考えないといけないと思います。鶴岡には年間430万人の観光客が来ているそうです。その方々全員に対し鶴岡市がJA鶴岡全面協力のもと四季折々の決まった食材を確保し、市内各店舗や旅館で提供するイベントを企画したかどうか。生産者や私達も潤い、そうすることで大きなニュースとなり色々なところへ波及していくと思うんですよ。

組合長 食文化創造都市第1号になった理由として、伝統的な農産物、在来野菜がずっと絶えることなく伝わってきているというのも大きいと思います。その辺がもっと前面に出て欲しいのですが、近年視点が料理人の方に向いています。改めて伝統野菜を守るほうに向けるため先ほど石川会長が言ったように、それを提供する場をもっと作れば、それが鶴岡の色として、文化としてもっと栄えると思います。

大宮 様々な仕掛けをいろんな団体さんでもやられていると思うのですが、人材育成も重要な視点と考えています。鶴岡の食の魅力を伝える鶴岡ふうどガイドがいるんなツアーに添乗または企画をしています。が、鶴岡の食文化と観光を支えるキーマンとなっています。

石川 私は、農家の方々に作付協礼金みたいな形を検討して作付量を計算し、それを我々が全量仕入れてお客様に提供する仕組みなら、年間の販売計画もできま

すよね。

組合長 結局、農家の皆さんがなぜ在来野菜を作らないかという点、残念ながらお金にならないからです。ちゃんと契約のもとに、全量を買ってもらえるというのであれば、十分作るわけです。そこに食文化創造都市の一環として、各飲食店に安く提供するということが一斉に使えね。いつも言ってるのだけど、農家がい

司会 市の支援をいただき、資材の価格上昇分もそれで吸収し、安く提供できるような状況ができればいいですよ。なかなか価格転嫁が難しい農産物、海産物もそうですけど、何かと難しいところではあるので市の支援などがあつて初めて成り立つのかなと。

組合長 また次の作物が作れるほどの利益が生まれないと誰もやらないわけです。それを我々は適正価格という表現でお願いしています。現場では、今の農産物がもう少し高くなっても大丈夫なんですか。お客さんに転嫁できればいいわけですけど。

石川 できると思いますよ。今も価格高騰とニュースで全国的に謳われていますからお客様も納得して支払ってくれています。去年よりも2000円から3000円ぐらい宿泊単価が上がっています。やはり食材だけでなく、燃料費とか人件費とか、様々な問題もあるんですよ。



鶴岡市農業協同組合
代表理事組合長
佐藤 茂一

組合長 我々の農産物はなかなか上がってないわけです。それがやっぱり苦しいところで、一緒に農産物の方も上げれば大変ありがたい。常に需要と供給で農産物の価格が決まるものですから、いわゆる最低価格みたいなものがあればと思います。

石川 そうですね。

組合長 うちのメロン直売店は食べ放題をずっとやっていましたが、コロナで一旦途絶えまして今ちょっと休んでいます。JAだけでメロン収穫ツアーをしても地元

石川 昔、西郷の選果場や市内の立ち寄り施設などでやった、日帰りツアーの加茂水族館と庄内砂丘メロン食べ放題は売れましたよね。

司会 西郷選果場の食べ放題は、やっぱりツアー等の企画が多いみたいです。予約しないといけないものですか。メロンが食べ頃になるまで時間がかかるので、いつ何人来るかというのが分かると準備しやすいですね。

組合長 そういうツアーが来れば、また一段とね。

司会 前より増えてるって話ですよ。

大宮 ぜひ鶴岡に来て食を楽しんでいただければと思っています。そのためには弊社でも積極的に情報発信をしていきたいと思っています。

司会 今後とも鶴岡の農産物を通してお互いに連携していけたらと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

組合長 本日は様々なアイデアが出ましたが、今後はその実現のために努力してまいりたいと思いますので今後ともよろしく願います。本日はどうもありがとうございました。



年男年女

辰年さんの初夢

今年、年男・年女を迎える辰年生まれの皆さん。
新年にかける思いや夢、そして今、節目の年に何を思うか。
10名の方々にお話をうかがいました。



五十嵐 昌幸さん
橋川原

「より良い年にする為に」

昨年は、天候に左右され作物の管理が難しく品質や収穫量が低下しました。今年も同じ気象になるか分かりませんが、昨年の反省を踏まえてできる対策はしていきたいです。また、夏に第四子となる次男が産まれて益々賑やかになりました。育児は九年ぶりで体力が不安でしたが、姉や兄たちが手伝ってくれるので頼もしく思います。子育ても農業も体力勝負です。子供たちの成長を見守るために、また作物の管理をするため健康に気を付けるべく禁煙を決心しています。



宮守 恵里さん
少連寺

「自然と共に生きる」

里山暮らしをして34年、自然から学ぶことがたくさんあったなあと実感しています。20年前の夏、子供らと川で釣りやゴムチューブで泳ぎ、水中生物やカジカの色の変化の自由研究などを一緒に行いました。川がきれいであることやサクラマスが生息することも確認できました。子供が生まれた秋に、産着からモソモソとカメ虫が這って顔を出したときには発狂してました。今ではパシッとガムテープで捕獲することが出来ます。まあそこにいるんだと寒くなったら山に帰るから大丈夫だと孫には説明しています。冬の除雪は山の川水を利用し、ビニールホースで家の前に引き流し、前の川に押し流すことで除雪をしてくれます。山の水オンリーで除雪しているのですからSDGsな生活だと感じております。これは30年前も今も変わらず行われています。自然と人間と共存させていた

だき自然から恵みをいただき、今度は孫世代に少しでも自然と共に生きる知恵を伝えながら生きていけたら幸せと思っています。次の世代もずっと自然を愛してくれることを願っています。



佐藤 絢香さん
岡山

「よき箱庭と糧を得て」

秋の晴れた午後、この世界に生をうけ何度干支を繰り返したでしょう。両親、祖父母、姉兄、おばに囲まれて何不自由なく育ててもらいました。病気等、困難にも見舞われましたが私を作りあげてきた全てに感謝しています。私はこの地球という大きな宇宙の小石の中のほんの塵に過ぎませんがこれからも悔いのない人生を歩めるよう精進していきます。そして私を慈しんでくれた人達と同じ位、自分を愛していこうと思います。よき箱庭と糧を得て、ここに立てているのだから。



野村 仁さん
向町

「前へ」

新年明けましておめでとうございます。昨年の農業を振り返れば、と言う文言を書くともはやネガティブな言葉の羅列となる。気象や政治に翻弄される農業を憂いて下を向いても前へは進めない。いやむしろ下の足元を見るべきか。土づくりは？時期は？作業手順は？水は？コストは減らせるか？等々。気象に負けないコスト高に負けない為に地道に足元を見直し計画を進めていく。笑顔で秋のアレを迎える為に。又、地域推進委員として地域計画を進める一翼を担っていききたい。

「辰年に思うこと」

昨年卯年、ぴよんぴよんと事が決まり、長らく勤めた職場を辞め違うフィールドでの仕事をスタートさせました。この歳で新しいことに挑戦するということはワクワクよりもドキドキの方が勝り、自分にとって試練の一年となりました。それでも周りの人や環境に助けられなんとか頑張っております。

今年辰年、龍の如しというよりは、自分を取り巻く職、家族、友人、趣味、体、時間と



渡會 美紀さん
勝福寺

改めてゆっくりじっくり関わり、丁寧な生活を心掛け穏やかな一年を過ごしたいです。

「甲辰年男の年譜表」

新年、明けましておめでとうございます。

最初に向かえた辰年(12才)は東京オリンピックの開催、東海道新幹線の開業と日本の高度成長期に突入する年。二度目(24才)は、激動の学生生活を東京で過ごし、生まれ故郷に帰郷してまもない年。三度目(36才)は、三人の豆人達と遊園地ではしゃぎ回っていた年。四度目(48才)は、資格取得に邁進していた年。五度目(60才)は、いよいよ高年齢の仲間入りかと



井上 秀夫さん
新形

人生を振り返った年。今回、72才の辰年は今までのように適当な目標と野望を持つて生きて行こうかな?と思っています。

「今できること」

60歳という年齢を迎えた今、過去の失敗や成功からの経験を活かし、もう少し農業を持続して行けたらと思います。

地域貢献として取り組んでいる金峯山雪灯籠まつりのフル開催の成功を目標にしています。もう一つは、金峯山に幾つもある老朽化した末社の修復を地域の皆様の協力とクラウドファンディングを取り入れながら進めています。皆様の奉賛をお願いしながら頑張っていきたいと思っています。



山口 久喜さん
民田



「人生これまでにこれから」

自分が生まれた年の干支に還ると言われる今年は、生きがいを感じ取れる一年にしたいと思っています。

半世紀以上の人生を振り返ると、これまでいくつかのターニングポイントがあり、決して順風満帆とは言えませんでした。三人の子宝にも恵まれ、やりたい事はやり尽くした感があります。

今後は百二歳の祖母を囲んで、孫の笑顔



伊藤 多行さん
中野京田

を見ながら家族の絆を大事にすると共に、自分を育ててくれた地域に少しでも貢献できたいと思っています。

「今年の僕・未来の僕」

今年で六年生、最高学年になるので勉強はもちろん、生活態度も上級生らしくお手本になれる様に頑張っている。僕が一年生の時の六年生がとてもしっかりとしたのでそう思ってもらえる六年生になりたいです。

また、大人になったら大好きな車に関わるお仕事をしたいたと思っています。環境に優しい車に、何百キロも出るレーシングカーなど色々な車に囲まれて仕事をしてみたいです。



石塚 蒼央さん
三瀬

その為にも、一日一日を大切に夢に向かって一歩ずつ頑張っていきたいです。

「昔、加工食家。今、健康家。」

辰年に生まれ、4回目の年男を迎えることができました。

先日、以前より興味があった5日間ファスティングを試みました。コーヒール等のカフェインが体内から抜けるまで頭痛はみられませんが、酵素ドリンクをこまめにとることで空腹感はありません。3日目からは覚醒モードになります。体から老廃物が排出され、体がリセットし、朝の目覚めもスッキリします。

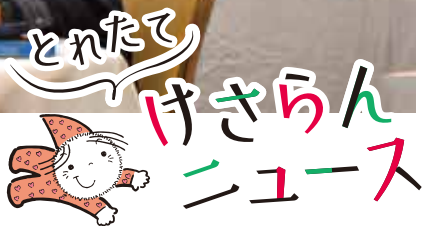


難波 隆博さん
愛あい館 所長

体に良い事、添加物を制限した良い食事を取り入れ、当たり前の日常に感謝して1年を過ごしたいと思っています。



精算報告と次年度の
対策を確認する生産者。



松浦敏さん「旭日単光章」受章祝賀会 受章の喜びを分かち合う

2023年度春の叙勲で旭日単光章を受章した小淀川の松浦敏さん(75)の受章祝賀会が10月29日、グランドエル・サンで開かれた。関係者約170人が出席し、受章の喜びを皆で分かち合った。

祝賀会は農事組合法人大泉フェローズや中央支所の関係者らが発起人となって開催。来賓代表で加藤鮎子こども政策担当大臣、芳賀道也参議院議員、吉村美栄子県知事、皆川治市長、佐藤茂一代表理事組合長などが祝辞を述べた。

孫たちから記念品や花束を受け取った松浦さんは「農業人生の57年の歩みは数多くの人との出会いでご指導・励まし・支えをいただき今日の自分がある。これからも皆さんとともに鶴岡農業の振興の一助となれればと思っている」と謝辞を述べた。



謝辞を述べる松浦さん。

だだちゃ豆精算報告会を開く

集荷量は約655トン

だだちゃ豆専門部は11月7日、エダマメ「だだちゃ豆」の2023年度精算報告会をグランドエル・サンで開いた。生産者、JA役職員、市場関係者など約115人が出席した。

加賀山雄専門部長は「23年度は気象条件に苦しめられた1年であった。高温対策を行い、今後も専門部事業にご協力いただきたい」とあいさつした。

全体の集荷量は約655トンと前年比80%となったが、全国的な品薄傾向から高単価での販売となった。

24年度に向けた生産対策では、優良種子の選別や高温・乾燥対策、生育状況に応じた防除管理に取り組むことを確認し、同時に生産についての研修会も開かれた。

農業関連予算編成に関する要請を提出

農業者への支援を要請

JA鶴岡農政対策推進協議会は11月22日、2024年度農業関連予算編成にあたり、佐藤茂一組合長が鶴岡市役所を訪れ、皆川治市長に高温等被害対策に係る緊急要請をしたのち、要請書を手渡した。

佐藤組合長は「原油・電気が高騰しており農業者の負担を軽減するため、米の乾燥調製や青果物の集出荷に対する支援の継続と、共同揚水機場への支援については、土地改良区域だけでなく西郷砂丘畑も対象とするようお願いしたい」と述べた。

皆川市長は「猛暑による米への影響や物価高騰対策等、国や県の政策をよく見ながらしっかりと対応していきたい」と話した。



皆川市長に要請書を手渡す佐藤組合長㊤



佐藤組合長㊦皆川市長㊧海藤組合長㊨

鶴岡市にカーブミラーを寄贈 寄贈を始めて50年

J A鶴岡とJ A庄内たがわ、J A共済連山形は11月22日、地域住民の交通安全と事故防止に役立ててもらおうと、鶴岡市にカーブミラー21基を寄贈した。

佐藤茂一組合長、海藤喜久男組合長が鶴岡市役所を訪れ、皆川治市長に目録とレプリカを手渡した。皆川市長は「町内会、自治会より新規設置や老朽化による更新の要望がごございます。関係団体と連携して交通事故を減らしていけるように普及啓発に努めていきたいので、カーブミラーを有効活用させていただきたい」と謝意を述べた。

寄贈は地域貢献活動の一環として、1973年から始まり50年間継続されており、累計で1536基となった。

第23回 組合員交流ゴルフコンペ ゴルフで親睦交流

10月31日、湯の浜カントリークラブで組合員交流ゴルフコンペを開き、組合員・J A役職員ら96人が参加した。

秋晴れのすがすがしい中、18ホールで熱戦が繰り広げられ、北支所の佐藤豊さん(道形)が優勝した。

4年ぶりに表彰式と懇親会も行われ、お互いのプレーをたたえあいながら交流を深めた。

この大会は、J Aと組合員、また組合員相互の親睦交流を深めることを目的として行われており、今年で23回目となる。



優勝した佐藤さん㊦

料金受取人払郵便

鶴岡局承認

443

差出有効期限
令和6年4月
13日まで

(切手不要)

郵便はがき

9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3-1

JA鶴岡 広報係 行き



※差し支えなければご記入ください。

ご住所	〒		
	市		
ふりがな	性別	年齢	
お名前	男・女		
電話番号			

※ポストに投函されるか、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい

〈無料ファックスダイヤル〉0800-800-5090

(ヤミ子猫) 剪

購買明細書の発行について

令和5年分の購買品の供給明細書を昨年同様に発行いたします。昨年発行した方には、特にお申し出がない限り継続して発行させていただきます。

発行停止、変更または新規でお申し込みの方は、令和5年12月29日(金)までに各支所にお申し出ください。料金については1世帯あたり1,100円(税込)となります。

【お問い合わせ先】

総合企画課
TEL: 33-8179

令和6年度 水稻農作業の委託者・受託者募集について

水稻に関する一部基幹作業を委託して農業を続けたい方、または余裕のある作業を請け負いたい方についての斡旋・調整を行っております。

【内容】

水稻農作業(育苗、耕起、代掻、田植、刈取等)(※へり防除は除く)について、委託者、受託者双方が「稲作農作業基準賃金表」を参考に希望料金などを申し込めます。

JAでは、希望料金や圃場の場所などをもとに委託者、受託者双方の希望に近いものを斡旋し、双方合意で契約となります。また作業料金の精算は、J

Aに事務代行の依頼もできます(手数料双方1%)

【申込】

各支所・事業所営農に申込書を準備しております。令和6年1月31日(水)まで各支所・事業所営農担当へ提出をお願いします。なお昨年度、申込された方も改めて提出が必要です。

【お問い合わせ先】

詳しくは、各支所・事業所営農担当、又は営農販売部生産振興課へご相談ください。

アグリ21農業簿記パソコン講座 「決算書申告書作成およびe-tax申請講座」参加者募集

■決算書・申告書作成講座

期日 ①1/31(水)

②2/7(水) ③2/14(水)

④2/17(土) 全4回講座

時間 13時30分～16時

■e-tax申請講座

期日 2/21(水)

時間 19時～21時

■会場

JA鶴岡 農業振興センター2F研修室

■定員

10名程度

■受講料

各2,500円(当日、おつりのないようご用意ください)

■締切

1/15(月)

■申込

JA鶴岡の各支所・事業所にあります申込用紙に必要事項をご記入の上、各支所・事業所・生産振興課(農業振興センター)に提出してください。または、生産振興課(農

業振興センター)に直接FAXでお申込みください。

■連絡先 JA鶴岡生産振興課(農業振興センター)

TEL: 29-04455
FAX: 29-0422

令和6年度 農薬の価格 情勢について

原材料、包装用段ボール等の副資材価格、製造コストなどの上昇により、可能な限り値上げ幅は圧縮しましたが、多くの品目で値上げとなりました。

全農取り扱い農薬1,220品目のうち、911品目が値上げ、300品目が据え置き、2品目が値下げとなります。現在の値上幅は平均で約2.2%となっていますが、価格の決まっていない品目もあることから、値上げ幅は今後変動する見込みです。

マシン油は原油価格および副原料のコストの上昇を反映し、値上げが見込まれております。

【お問い合わせ先】

生産資材配送センター
フリーダイヤル 0800-1800160006

令和6年度用水稲農薬 WEB予約申込開始について

生産資材予約注文WEBサイト「JA鶴岡じよさねっと」において、令和6年度用水稲農薬予約申込を12月

25日より開始いたします。QRコードを読み取ってアクセスしてください。会員登録をされていない方も同様にアクセスしていただき、登録してから予約申込へお進みください。



【お問い合わせ先】

生産資材配送センター
フリーダイヤル 0800-1800160006

生産資材課

棚卸に伴う営業時間の変更について

★棚卸実施日 12月22日(金)

生産資材配送センター	JAグリーン資材館 JAグリーン西郷店
休業	午後休業

介護のご相談は

JA鶴岡福祉サービスへ

電話 25-4345

灯台

当町内の生産組合員数は9名。平均年齢は60代半ば。

そして、生産組合、水利組合、揚水機場、農協総代、農業共済組合、青申会等々の役員総数は31名となり、複数の役職兼務は当たり前前の状況となっている。参集メンバーは同じでも、団体名の違いで役員と構成員を使い分けている。この他に町内会や神社・寺院等の町内各団体役員を兼務もあり。

将来的には生産組合員数の減少も予想され、一人当たりの役職負担増も見込まれるため、軽減策として組織の統合再編や役員定数の見直し等も考慮する必要があるかな。個人的には「終活」時期となるため、将来の課題解決を考える年としていきたい。

広報委員 阿部和博 (栄)

2024年から / NISA制度が変わります

NISA(ニーサ:少額投資非課税制度)とは、国民の資産形成を応援する国の税制優遇制度です。通常の証券総合口座の投資では20.315%の税金(復興特別所得税を加味)がかかるのに対し、NISA口座での投資ではそれらの利益に税金がかかりません。

投資をするなら、ぜひ利用したい仕組みです。



©よりぞう

新制度 2024年1月～

比較項目	つみたて投資枠	成長投資枠
口座開設期間	恒久化	
両制度の併用	併用可	
年間投資上限枠	120万円	240万円
非課税保有期間	無期限	
生涯投資上限枠	買付残高 1,800万円	
		買付残高 1,200万円 (成長投資枠のみ利用の場合)
対象年齢	18歳以上	
対象商品	現行のつみたてNISA対象商品と同様	上場株式・投資信託等 ①整理・監理銘柄 ②信託期間20年未満、高レバレッジ型および毎月分配型の投資信託等を除外

【注意事項】本資料は2023年1月31日時点の各種情報に基づいて作成しており、今後予告なく変更になる可能性があります。

お問い合わせは金融本店へ TEL:22-3260

JA鶴岡

新車からU-carまで、愛車探しを全力でサポートします!!

1月21日⑩ / まで開催!

2024 新春 初売り総力祭



いけばいへて詳

うれしい 特典満載!

今年も新車・展示在庫車 すべてあげます!!



特典 1



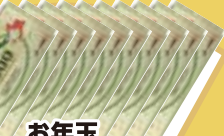
ガソリン 50ℓ相当分

特典 2



選べる 山形黒毛和牛プラン 1万円相当分

特典 3



お年玉 JA鶴岡事業利用券 1万円分

購入サポートプラン もご利用してます!

例えば 3点セット
8インチナビ
ドライブレコーダー 前後録画タイプ
ETC車載器
188,200円のところを 148,000円!!
40,200円もお得!

※令和5年12月15日以降のご成約が対象となります。※福祉車は除きます。※写真はイメージです。

JA 鶴岡 ファーマーズマーケット MONTEARL もんたあゐる

本年もたくさんのご愛顧 誠にありがとうございました。

12月24日⑩～30日① 歳末セール 開催します

12月30日①をもつて 年内の営業は終了します。 12月31日②は休業します。

年越しそばとして 手打ち田川そばや 鬼坂そばの 注文を受け付け中です!

2024年も「もんとあゐる」 白山店・駅前店をよろしくお願いいたします。

2024年 もんとあゐるの初売り

1月5日① 9:30 オープン

1月～3月は冬時間営業 2店舗とも 9:30～17:00 1月10日②は定休日

毎年大好評! 玄米福袋 野菜福箱 早い者勝ち!

JA鶴岡広報誌

暮らしに幸せ運ぶ



No.636 2023年12月発行

庄内農家の友

ホームページ Facebook



●連絡先／鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-1 TEL.0235-23-5090
●ホームページ https://ja-tsuruoka.or.jp ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp
●印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会